墨田工科高等学校 令和7年度

教科 工業(自動車) 科目 自動車実習

教 科: 工業(自動車) 科 目: 自動車実習 単位数: 6 単位

対象学年組:第 2 学年 2 組~ 組

教科担当者:

使用教科書: (自校作成資料

)

教科 工業(自動車) の目標:

【知 識 及 び 技 能】工業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】態度を養う。 はい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む

科目 自動車実習 の目標:

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
通年	汎用的な測定器具の取り扱いシャシ点検整備作業機器の取扱い定期点検作業制動装置の分解・組立・測定サスペンションの分解・組立・測定タイヤ・ホイールの測定・交換作業・汎用的な測定器具の取り扱いを理解する。・定期点検作業について理解し12カ月点検を行うことができる。・制動装置・サスペンションの分解組立を通して、制動装置・サスペンションの構造を理解する。各種整備装置の使用方法を習得する。	ブレーキの構造・原理の理解 ブレーキパッドの交換・清掃・組付 け作業 ブレーキフルードの交換作業 コイルスプリングの種類	【知識・技能】各種の測定についての重要性について理解し、汎用的な測定器具測定機器を使い測定ができる。12ヶ月点検の作業内容と作業の習得制動装置・サスペンションの構造を理解し、各種測定方法を習得している。【思考・判断し、その改善向上をめざしている。制動装置・サスペンション分解組立りで的確に表現できる技量を身につけている。【主体的に学習に取り組む態度】測定について興味・関心を持ち、その改善向上すスペンション分解組立りを持ち、その改善向上サスペンション分解組立度作業について興味・関心を持ち、の改善向上サスペンション分解組立度について興味・関心を持ち、の改善向上サスペンション分解組立度作業について興味・関心を持ち、作業に意欲的に取り組んでいる。	0	0	0	70
	4 サイクルガソリンエンジンの分解・組立・測定・調整 ・ 4 サイクルガソリンエンジンの構造にについて理解する。・ 4 サイクルガソリンエンジンの分解・組立を行う。・ 4 サイクルガソリンエンジンの各部において測定・調整を行う。	エンジン始動の点検 シリンダヘッド分解・組立・測定 冷却装置の分解・組立・測定 吸排袋装置の分解・組立・測定 燃料装置の分解・組立・測定 充電装置の分解・組立・測定 点火装置の分解・組立・測定 点火装置の分解・組立・測定 は動装置の分解・組立・測定 対動装置の分解・組立・測定	【知識・技能】 4 サイクルガソリンエンジンの分解・組立・ 測定・調整の方法について理解し、自ら正しい作業を行うことができる。 【思考・判断・表現】 4 サイクルガソリンエンジンの分解・組立・ 測定・調整について適切に思考・判断し、作 業の向上をめざしている。各作業について的 確に表現できる技量を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 4 サイクルガソリンエンジンの分解・組立・ 測定・調整について興味・関心を持ち、各作 業に意欲的に取り組んでいる。	0	0	0	70
	ディーゼルエンジンの分解・組立・測定・調整 ディーゼルエンジン噴射ポンプの 分解・組立・測定・調整 ・ディーゼルエンジンおよび噴射 ポンプの構造にについて理解する。 ・ディーゼルエンジンおよび噴射 ポンプの分解・組立を行う。 ・ディーゼルエンジンおよび噴射 ポンプの各部において測定・調整 を行う。	エンジンスタンド取り付け方法 エンジンハンガーの取り扱い測定 シリンダヘッド分解・組 測定 冷却装置の分解・組立・測定 燃料装置の分解・組立・測定 燃料装置の分解・組立・測定 点火装置の分解・組立・測定 点火装置の分解・組立・測定 点火装置の分解・組立・測定 引型噴射ポンプの分解・組立・測 定 分配型噴射ポンプの分解・組立・測定	【知識・技能】 ディーゼルエンジンおよび噴射ポンプの分解・組立・測定・調整の方法について理解し、自ら正しい作業を行うことができる。 【思考・判断・表現】 ディーゼルエンジンおよび噴射ポンプの分解・組立・測定・調整について適切に思考・判断し、作業の向上をめざしている。各作業について的確に表現できる技量を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ディーゼルエンジンおよび噴射ポンプの分解・組立・測定・調整について興味・関心を持ち、各作業に意欲的に取り組んでいる。	0	0	0	70
							合計 210